

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	白石市家庭教育支援チーム (呼称:しろいし家庭教育支援チーム「ペアレントらん」)
②活動拠点	白石市中央公民館
③活動範囲	白石市内全域
④組織体制	10人 子育てサポーターリーダー7名、子育てサポーター1名 読み聞かせボランティア1名、元教職員1名
⑤活動開始年度	平成26年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 白石市教育委員会生涯学習課 (TEL)0224-22-1343 (E-mail)con-edu@city.shiroishi.miyagi.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(中学生への学びの場の提供)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮城県版「親の学びのプログラム」を活用し、市内小学校で一日入学説明会の際、子育てに対して改めて見つめ直すきっかけとして出前講座を実施している。対象校は希望のあった小学校のみで、グループワークなどを通して親同士の交流や不安や悩みを共有する場にもなっている。 ・中学生に対して、家庭科の授業で「親になるということ」と題し、妊婦体験や赤ちゃん人形を用いた育児体験学習を実施。命の大切さや親への感謝、親になることの責任などを学ぶ機会となっている。
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークを通して、親同士が抱える悩みを共有し、悩んでいるのは自分だけではないということを認識することで、悩みや不安を軽減することができた。 ・アンケートの結果から「子どもと向き合う時間をつくり、子どもの気持ちに寄り添っていけるようにしたい」「これからはたくさん褒めてあげたい」など、これからの子育てについて前向きな意見がたくさん挙げられた。
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:学校を核とした地域力強化プラン) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()